

国語

「だれもがかかわり合えるように」

相模原市立藤野南小学校

単元（題材）目標

- ・文章を読んで、関わり合いについて考え、課題について進んで調べようとしたり友達に分かるように発表したりできる。

（１）実施時期

9月上旬

（２）対象（学年等・人数）

4学年 11人

（３）指導者（教諭・外部講師等）

本校教諭：4年担任

（４）実施内容

- ・資料「手と心で読む」を読み、学習課題を設定する。
- ・学習課題に聴覚障害がある方との関わりをもつための方法として、手話について調べる。

＜例＞自分の名前を指文字で表す。

「私の名前は〇〇〇〇です。好きなスポーツは〇〇です。」など

（５）成果

- ・指文字表を学級に掲示しておくことで、自分の名前を指文字で表そうとする児童が増えて、手話に関心をもつことができた。
- ・手話には指文字や手話単語などがあり、それを知ることで関わりをもつきっかけにもなることを理解できた。
- ・この学習をきっかけにして、先輩達に取り組んだ「校歌を手話で歌ってみよう」にチャレンジすることになった。

（６）その他

- ・本校校歌「新しい風がふくよ」を手話にした資料は、今後も活用していきたい。